記者発表資料

平成２０年　５月１９日
山形河川国道事務所

一般国道113号

赤湯バイパスの一部開通について

～５月２２日（木）供用開始～

国土交通省山形河川国道事務所が進めてきました、山形県南陽市内の一般国道１１３号「赤湯バイパス」が、下記のとおり一部開通することになりましたので、お知らせします。

記

１．供用日時：平成２０年５月２２日（木）午後１時００分（予定）
※天候によっては、予定が変更になる場合がありますのでご了承願います。

２．供用区間：起点　山形県南陽市島貫（しまぬき）
終点　山形県南陽市鍋田（なべた）
別添図参照

・供用延長：今回供用延長L=２．０ｋｍ
（全線L=７．２kmの内、既供用延長L=１．２kmと合わせL=３．２kmが供用）

今年度末までの全線供用に向けて、引き続き工事を進めてまいります。
地域の皆様、ご利用の皆様には、ご迷惑ご不便等おかけしますが、今後とも、ご理解ご協力をお願いします。

発表記者会：山形県政記者クラブ、米沢記者倶楽部
山形建設業界専門紙

〈問い合わせ先〉
国土交通省 東北地方整備局 山形河川国道事務所
〒990-9580 山形市成沢西四丁目3-55　TEL：023-688-8421(代)

副所長（道路担当）　寺舘（てらだて）　和夫（かずお）（内線205）

工務第二課長　高橋（たかはし）　秀典（ひでのり）（内線411）

別　　紙

（１）【一般国道１１３号 赤湯バイパスの概要】

一般国道１１３号は、新潟市を起点とし福島県相馬市に至る幹線横断道路です。南陽市の市街部は、家屋や店舗が連担し幅員が狭いうえに直角曲がりが２箇所あり、大型通行規制区間があるなど幹線道路としての機能が低下しています。また、豪雪地帯に位置しているものの、道路の堆雪余裕がなく、運搬排雪を余儀なくされ、歩道の未設置区間があるなど安全性の面からも問題が指摘されています。

このような道路状況から交通混雑や旅行速度の低下などが問題となり、これらの諸問題を早期に解決し幹線道路としての機能回復・向上を図るために赤湯バイパスを整備しています。

赤湯バイパスは、平成７年度に事業着手し、これまでにL=１．２ｋｍが部分供用しております。今回５月２２日に供用開始するL=２．０ｋｍのほか、残る南陽市竹原～南陽市島貫間のL=４．０ｋｍについては、今年度末までの全線供用を目指して工事を進めています。

（２）事業概要

・起　　点　山形県南陽市竹原
・終　　点　山形県東置賜郡高畠町深沼
・延　　長　Ｌ＝７．２ｋｍ
・道 路 種 別　第１種第３級
・計画車線数　４車線
・計 画 幅 員　W=２２m（暫定２車幅員１２m）
・設 計 速 度　８０ｋｍ/ｈ

（３）事業経緯

・事 業 着 手　平成７年度
・用 地 着 手　平成９年度
・工 事 着 手　平成11年度
・部 分 供 用　平成15年11月　暫定２車線供用　Ｌ＝１．２km

（４）完成区間の整備効果

●市街地の迂回が可能となることから、渋滞緩和や沿道環境の改善が期待されます。
●災害や交通事故による通行止め時等の緊急時には、代替ルートが確保されます。

